

## 二〇二六年度法科大学院入学試験問題

### 小論文

#### 注意事項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙は一枚配付します。
- III 解答にあたっては、黒インクのボールペンまたは万年筆のいずれかを使用してください（ただし、インクがプラスチック製消しゴムで消せないものに限ります）。それ以外で解答用紙に記入した場合は、無効とします。また、解答用紙欄外へ記入されているものは採点の対象としません。
- IV 解答を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、一行の場合には横線で消して、その後のマス目から書き直してください（余白には書かないでください）。修正液・修正テープを使用してはいけません。
- V 解答は横書きで記入してください。
- VI 試験時間は六〇分です。
- VII 問題は八ページで一問です。

問題 次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい。

**著作物の関係上、本文については、ホームページ上での公開および印刷物での配布は行っておりません。**

〔問〕 (1) 課題文において筆者が前提とする「嘘」の概念を整理し(200字程度)、(2)筆者が「倫理的には嘘は悪い」とする根拠を参考として、「嘘は悪い」のか検討しなさい。(1)(2)合計800字以内)

〔問〕 (1) 課題文において筆者が前提とする「嘘」の概念を整理し(200字程度)、(2)筆者が「倫理的には嘘は悪い」とする根拠を参考として、「嘘は悪い」のか検討しなさい。(1)(2)合計800字以内)